

国際交流

現状と課題

国際化の進展にともない、障害者も国際競技大会の参加などを通じて、豊かな国際感覚をもって国際活動に取り組むことにより、自立や社会参加を促進する必要があります。

また、近年、本県の外国籍県民は、増加傾向にあり、今後ますますの増加が予想されています。

こうした中、障害のある外国籍県民にとっても、安心して暮らせるとともに、地域社会に参画できるような暮らしやすい生活環境を確保することが求められています。

このため、障害のある外国籍県民に対し、インターネットなど様々なメディアを活用した各種情報の提供や相談への対応などを充実していく必要があります。

今後の取組

障害者スポーツの国際競技大会である「パラリンピック」や「フェスピック」などへの選手派遣の支援を行い、スポーツを通じた国際交流を促進します。

障害のある外国籍県民に対して、本県における医療・保健・福祉サービスをはじめとする各種生活情報などを、地域の国際化に資する情報を提供する「ひろしま国際情報ネットワーク（HIINT）」などを通じて提供するとともに、相談への対応を行います。

なお、情報の提供にあたっては、英語版のみでなく、多言語化に努めます。

パラリンピック

パラリンピックとは、4年に1回、オリンピックの直後に、原則として当該開催地で行われる障害者の国際競技大会であり、夏季大会と冬季大会が開催されています。

夏季大会は、昭和35年にローマ（イタリア）、冬季大会は、昭和51年にエーンシェルスピーク（スウェーデン）で第1回大会が開催されています。

日本においては、昭和39年に東京で第2回夏季大会が開催されています。

本県では、第7回長野パラリンピック冬季大会へ1名選手派遣を行っています。

フェスピック

フェスピック（極東・南太平洋障害者スポーツ大会）とは、東アジアと南太平洋の国々及び地域を対象に、おおむね4年ごとに開催される障害者のスポーツ大会で、日本の提唱により開催されるようになりました。

昭和50年に大分県（日本）で第1回大会が開催されています。

本県では、平成14年の第8回（釜山）大会へ2名選手派遣を行い、水泳において、銀メダル、銅メダルをそれぞれ1つずつ獲得しています。

アテネパラリンピック（第12回夏季大会）

開催期間 2004年9月17日～28日 参加国数 130か国（予定）
実施競技 19競技 陸上競技，水泳，卓球，アーチェリー，車いすテニス，
車椅子バスケットボール シットティングバレーボール，
ボッチャ等

広島国際情報ネットワーク「HIINT」



外国籍を含めた県民の国際活動を促進するため，内外の関係機関等とのネットワークを通じて収集した地域の国際化に資する情報を一元的に提供するホームページです。通称をヒント（HIINT：Hiroshima・International・Information・Network）とし，県民が国際活動を行なう際の「ヒント」になる情報ネットワークという意味を込めています。

ホームページのアドレス <http://hiint.hiroshima-ic.or.jp>